

うすい花の八ヶ寺

【資料2】

●特に優れていると感じるポイント

| No. | 意見 |
|-----|---|
| 1 | 寺院単体ではなく、資源のネットワークとして地域の歴史や季節の自然を感じる景観を創出している。 |
| 2 | 寺院の立地特性から優れた眺望点を内包しているものも多く、印旛沼周辺の風土にまつわる景観を感じる場としても機能している。 |
| 3 | 花をめくりながら臼井を散策することができる。 |
| 4 | 各寺の花の演出とともに、高台からの風景など佐倉市の特徴的な景観を伝えるものとなっている。 |
| 5 | 八ヶ寺花巡りとして、花暦を含むパンフレットや各寺のイラストなど、その魅力を伝えるための取り組みが行われている。 |
| 6 | 地域景観をより深く理解する方法として、一連のものとして巡りながら理解するという方法がある。八景などがその代表的なものである。 |
| 7 | 今回応募のあった「うすい花の八ヶ寺」は、臼井地区を代表する寺と花を巡ることを提案している。 |
| 8 | 各寺院では様々な季節を感じられ、手入れの行き届いた花々はいずれも地域で愛されている景観となっている。 |
| 9 | 臼井城とうすい地域のある範囲に歴史を感じる寺院とその八ヶ所寺院に咲く四季のそれぞれの花は、佐倉の景観にはピッタリマッチしております。 |
| 10 | 自然が多く残っている地域の中でのお寺 |
| 11 | 季節でお花がきれいに咲く様子 |
| 12 | 八ヶ寺全てが整備された寺院で境内の清掃も行き届いている。 |
| 13 | 四季の花々が咲きそろった寺院は眺望的に素晴らしい景観と思われる。 |
| 14 | 平安の太古にスポットを当てて、現存しない当時をしのばせようと、訪れる人の興味をそそるように花をテーマに保守と情報発信をする活動とその発想を評価したい。 |

●その他

| No. | 意見 |
|-----|--|
| 1 | 街歩きや近隣観光のルートとしてのアピール、ルート上の景観整備、歩きやすい道路整備などが期待される。 |
| 2 | 寺院を景観資源として捉えるならば、個々の境内だけでなく、周辺の景観配慮も大切である。 |
| 3 | 散策マップなどができると便利である。 |
| 4 | 歴史的も背景も含め、建築物としての寺院の価値や作庭の意図など、寺院と地域の歴史・文化を伝えるためのさらなる工夫を期待したい。 |
| 5 | 改築中の物件が含まれているため今後の空間改編についての見通しを確認した上で受賞に値するか検討するのが良いと考えられる。 |
| 6 | 観光ルートマップを作成し、観光者に配布してはと思いました。 |
| 7 | 樹木が多いと手入れ、清掃が大変かと思われる。 |
| 8 | 寺社仏閣の持つ歴史や伝統建築等はいずれの地も同様に日本人の拠り所で評価を控えたい。 |

寺子屋 吉田書店

●特に優れていると感じるポイント

| No. | 意見 |
|-----|--|
| 1 | 旧書店らしい、知的な建物利用に好感が持てる。 |
| 2 | 外観とともに建物内部の書店としての設えが保存されていることが素晴らしい。 |
| 3 | 新町地区景観形成重点区域内にあり、景観の保全に寄与している。 |
| 4 | 所有者の熱意によって古い商家を修復し、学習活動に利用している。 |
| 5 | 成田街道に面し、細い格子窓、本棚など建具も含め、商店としての店構えがよく保存されている。 |
| 6 | 地域資料の展示や地域に関する勉強会の場としての活用は、かつての書店、教科書販売所としての建物の履歴を生かすものであり、新町の景観重点地区の歴史的な建築物の保全・活用の好事例の1つといえる。 |
| 7 | 成田街道に立地している、店蔵づくりの建造物は、地域の歴史を今に伝える景観上重要な建造物と言える。 |
| 8 | 現在では、勉強会などの開催など市民にも利用されており、今後とも活用し使い続けながら、保全されることが望ましい物件と言える。 |
| 9 | 平井家住宅との連続性なども重要な点である。 |
| 10 | 改修材（木目柄プリント鋼板）が必ずしも最善とは言いがたいが、地域景観に対する配慮としては一定の評価に値する。 |
| 11 | 重厚な蔵づくり、格子窓、漆喰の壁など当時の店構えを伝えております。 |
| 12 | 赤い円筒形のポスト、懐かしい風景です。 |
| 13 | 建物が新町にあり、国の登録文化財平井家の並び、成田街道沿いに位置していること。 |
| 14 | 二階の格子窓が歴史を感じさせる。 |
| 15 | お店の前にさりげなく置かれたポストが建物と調和している。 |
| 16 | 新町地区景観形成重点区域で成田街道沿いの「平井家住宅」と並ぶ建物であり先導的役割を評価したい。 |
| 17 | 蔵造りの商家として歴史と文化の再発見に活用され正に寺子屋にふさわしいと思う。 |
| 18 | 腐朽し始めていた沿道の母屋の建物を屋根・外壁など、建物の歴史と景観に配慮した形で修繕したことを特に評価したい。 |

寺子屋 吉田書店

●その他

| No. | 意見 |
|-----|---|
| 1 | 成田街道沿いにあって数少なくなった歴史的な商家として、今後さらなる利用の促進を期待したい。 |
| 2 | 修復についても丁寧に行われているように見受けられる。 |
| 3 | 今後も専門家のアドバイスなどを受けながら、建築物の価値を適切に保全しながら活用されることを期待したい。 |
| 4 | 平井家住宅など他のたてもものと連携し、成田街道の景観づくりに力を発揮してほしい。 |
| 5 | 現在も学習の場として、活躍しているのには感心しました。文化財としてこのまま残していきたいものです。 |
| 6 | 人の気配を感じたことがなく、せめて「のれん」とか「看板」を出して欲しい。 |
| 7 | 佐倉市は市登録文化財の補助金などで対応したのか、表彰に当たってそのあたりの技術論があれば、今後の景観保存のポイントになるので周知して広めて欲しい。 |

茶琴 神明

●特に優れていると感じるポイント

| No. | 意見 |
|-----|---|
| 1 | 歴史的な建築物の活用にあたり、慎重に材料を選定し、歴史的意匠を継承している。 |
| 2 | 新町地区景観形成重点区域内にあり、景観の保全に寄与している。 |
| 3 | 所有者によって、古い町家を新町の町並みに合うように改修し、活用している。 |
| 4 | もともとの建築物を尊重しながら、素材に拘った魅力的な改修が行われている。 |
| 5 | 京成佐倉駅から新町地区、美術館に向かうアプローチとして、景観形成上に重要な地域において、道路に対して間口の広い建物であることから、格子屏の設置や木製窓枠からのあかりの演出が効果的である。 |
| 6 | 時代カフェや文化芸術スペースとしての用途が、佐倉の歴史文化を伝える新町景観重要地区の位置付けと一致している。 |
| 7 | 景観形成重点区域内に立地する本建物は、新町地区の景観まちづくりを進める上で、建造物の特徴を活かした新しい商活動として注目できる。 |
| 8 | 外装、木塀や外壁など外観に対する工夫が随所に見られ、周辺のこれからのまちづくりの指針となる改修を行った事例として評価できる。 |
| 9 | 佐倉が城下町であった事を思い出す風情をのこしている。素晴らしい建築であります。 |
| 10 | 漆喰、格子窓、のれん、「渋柿」で塗装した壁など佐倉の景観に重みを与えてくれる。 |
| 11 | この建物は、佐倉の街並みに一級品の品格を与えてくれます。 |
| 12 | のれん、行燈の明かりが、生活（お店）の場として暖かさを感じられる。 |
| 13 | 平家造りなので、圧迫感もないので良い。 |
| 14 | 柿渋の色合い、木製の格子、広い面積のガラス窓。 (古くからの日本の良いところを取り入れている) |
| 15 | 家紋の入った白いのれんが黒っぽい建物に対象的で目を引く。 |
| 16 | 屋根の緩やかな傾斜が建物の横の広がりを感じる。 |
| 17 | 道路に面した格子窓が横の広がりとは調和している。 |
| 18 | 入口に下がった暖簾が建物全体にアクセントを与え、思わずくぐってみたいくなる。 |
| 19 | 新町通りから少し横に入った坂道の古民家カフェは城下町佐倉にピッタリの建物で優れた景観を創出している。 |
| 20 | 建物、建具、暖簾等、城下町の時代背景を考え構築され、文化芸術にも貢献していることは素晴らしい。 |
| 21 | 旧市街地では、飲食店が中々定着しない事から経営が難しいと云われる中で「復元ではなく」積極的な景観の復活を図り、活用を始めたことを高く評価したい。 |
| 22 | 旧市街地で新しい店舗を開く場合の参考となる活動であり、是非お手本として広めるような後押しをしたい。 |

茶琴 神明

●その他

| No. | 意見 |
|-----|--|
| 1 | 新町エリアには街歩き客が地域の歴史を感じながら飲食を楽しむことができる施設が少ない中、ギャラリー兼カフェとして、永く当地に定着することを期待したい。 |
| 2 | 地域と連携したさらなる活用を期待したい。 |
| 3 | 現在もカフェとして、文化芸術スペースとして使用されていることは意味があります。 |
| 4 | 通りの斜め向かいの昭和の連棟健保も取り壊されないうちに、昭和トロなどのテーマでファサード復活ができれば、このエリアで一つのまち並み復活の起爆剤になるかも知れません。 |
| 5 | 例えば、新町通りの本来の姿として江戸から昭和レトロまでが混在するまち並みなど、ストライクゾーンの広い景観もまた、観光として楽しいまちづくりが期待できます。 |

酒蔵 旭鶴

●特に優れていると感じるポイント

| No. | 意見 |
|-----|--|
| 1 | 馬渡宿の歴史を今に伝える随一の景観資源であるとともに、現在も酒造を営み積極的な商品・販路開発を行うなど、生きた資源として、歴史的にも、将来的にも地域の景観まちづくりを先導する役割を担っている。 |
| 2 | 建築物や塀なども丁寧に保全され格調高い造り酒屋の雰囲気を感じる。 |
| 3 | 酒蔵の見学など、歴史的建造物や酒造りの魅力を積極的に公開している点も素晴らしい。 |
| 4 | 今に続く醸造元のすばらしさ。 |
| 5 | 現役の酒蔵であり、漆喰壁と黒板塀、腰壁が御影石のショーウィンドウ、煙突など、店舗を併設した酒蔵のつくりがよく保存されており、宿場通りの景観形成上重要な建築物となっている。 |
| 6 | 宿場町の情景を今に伝える酒蔵は地域の重要な景観資源といえ、これまでの保全行為も非常に評価でき、受賞に値するものであると考えられる。 |
| 7 | 酒蔵の見学も日々実施されているとのことで、宿場における本酒蔵の立地や景観、町並み上の特徴なども今後さらに話として磨かれるとよいと言える。 |
| 8 | 門前に杉玉を吊り下げ、酒樽を置いて昔の酒造の伝統を守り通している。 |
| 9 | 酒造の壁は、漆喰の白壁と黒の板塀とで造られ、江戸期の豪華な建物、良く管理されているように見えます。 |
| 10 | 白壁と黒板塀で重厚感を出し、入り口にある杉玉を見れば造り酒屋とすぐわかる。 |
| 11 | 木製の看板も、思わず中の酒造を見たくなるような気にさせる。 |
| 12 | 板塀、白漆喰、黒板塀、屋根瓦全てが調和して建物に品を与えている。 |
| 13 | ショーウィンドウ、酒樽、杉玉が造り酒屋を象徴している。 |
| 14 | 建物中央にそびえる煙突、白漆喰壁から出ているブリキの煙突も建物に調和している。 |
| 15 | 歴史ある佐倉の造り酒屋で白壁と黒板壁の調和が見事。 |
| 16 | 城下町佐倉を連想できる建物や周辺の風情が素晴らしい。 |
| 17 | 旭鶴の建物は前面道路の対する接道も長く、店頭販売を続けている事もあり、通りに対する景観的な影響が大きいと云える。 |
| 18 | 最近行われたファサードのリニューアルは、景観を壊すことなく継承する方向に発展させているところを高く評価したい。 |

酒蔵 旭鶴

●その他

| No. | 意見 |
|-----|--|
| 1 | 酒蔵ならではの特徴を、訪日外国人も含む、馴染みのない人に伝えるなど、文化の継承・伝達の工夫を期待したい。 |
| 2 | 修復についても丁寧に行われているように見受けられるが、今後も専門家のアドバイスを受けながら、建築物の価値を適切に保全しながら活用されることを期待したい。 |
| 3 | 酒造り、蔵内の見学など、まだまだ現役です。大事にしてほしい建物です。 |
| 4 | 城下町佐倉、新町通りにアンテナショップを出店し連携できれば最高。 |
| 5 | この通りが旭鶴を手本に伝統的な景観を継承するまち並みに育ててゆくことを期待します。 |